

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 障がい福祉サービス事業所 コバン・クラージュ(児童発達支援)

公表日 2025年 2月 1日

利用児童数

21名

回収数

17名

	チェック項目	評価					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	記入なし		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17					狭すぎず、広すぎず、適切だと思います。	より子どもたちが過ごしやすいこと、また職員が働きやすい環境を目指し、整理整頓を続けています。場所ごとに担当が決まっており、今後更に良い環境に生まれ変わる予定です。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14	1		2		担当の方だけでなく、近くの子どもをみながら見守っている様子があり、安心感があつた。	担当は、あくまでも利用当初のお子さんの安心基地です。慣れることができた後は、もちろん全員で支援しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16			1		あまり中に入ったことはないけれど、段差がないように感じた。	感染症の状態を見ながら、保育参観や親子レク、保護者会など再開しています。次年度も、みなさんにお越しいただけるような仕組みを作ります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17					とても清潔感があって、安全にも配慮されていると思う。	
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	1				ひとり一人をととても大切に下さっているのが伝わってきます。	外部研修会への参加、また内部での勉強会など回数多く実施しています。知識と技術を更に習得し、より良い支援が提供できるよう努力します。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	1					
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	17					いつも丁寧な説明と対応で感謝しています。	個別性の高い、オーダーメイドの個別支援計画が作れるよう、今後もスキルアップし続けます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17						5領域との繋がりを明確にした計画書の立案や支援提供を今後も心がけます。また保護者様と共に学び、共にお子様の成長を見守ります。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17					行事や日々の予定もある中で、個々の支援も行って下さって感謝しています。	朝のミーティングでは、計画書の確認を行っています。個別にどのようなことが必要か、情報共有しています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	1				季節ごとの行事や発達を促す活動など様々なことを取り入れて下さっていて嬉しいです。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	3	1	5			コロナ前は交流を行っていました。次年度、状況を見ながら、再開していきます。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	2					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	1					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	1		2			保護者会では、子育てについての勉強会を実施しています。また「あおぞらクローバー」を通し、ペアレント・トレーニングに繋がる内容を掲載しています。何かご不明な点があれば、いつでもお問合せください。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	17					①良く見て下さっているなど報告を毎回聞くと感じています。 ②お忙しい中で、送迎時などの職員さんもお日々の様子を伝えて下さったり、親の話をよく耳を傾けて下さっています。	支援の内容を見える化できるよう、連絡ノートや出席ノートには可能な限り写真を貼るようになっています。少しでも不安なこと、確認したいことなどあれば、いつでもご連絡ください。
	16 定期的、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17					困っていることをお伝えすると、カードを別々に作って下さったり的確なアドバイスを教えて頂いたり、感謝です。	子ども達の次のステップを捉え、保護者様と共に手立てを考え、共に子育てをしていきたいと考えています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16				1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	3		1		①マーガレットの会発足ありがとうございます。とても楽しくまた悩みを保護者の方と話すことができ、ほっとできた時間でした。 ②最近クラージュで企画してくれる会や、マーガレットの会を通して他のママさんと話すこともでき、とても楽しく利用できます。きょうだい児同士の交流もあつた。すごく良いですね。 ③きょうだい交流の機会があるといいなと思います。小学生や中学生になると意外と障がいへの関心が薄れる、と聞きました。 ④いつも、企画や開催、感謝しています。ありがとうございます。	今年度は保護者様の集まる機会を5回企画しました。また、ダウン症の保護者会「マーガレット」の発足もできました。次年度も、楽しい企画また学びになる企画を提案させていただきます。きょうだい同士の交流については、コロナ前には実施してありました。徐々に再開していきます。
	19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16			1			
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16			1			
21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	17					活動の様子の写真が連絡帳にはつてあることがあって、とても助かります。表情や環境が分かり、嬉しいです。できれば、ですが、職員さんの顔も一緒に写っていてほしいです！大きくなったときに、〇〇先生だー！とか、〇〇先生若いー！とか、職員さんとの思い出も一緒に保管しておきたいです。	ありがとうございます。職員も含め、楽しい活動の様子を掲載させていただきます。	

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17					こちらの要望に応じて下さって、個人用にあおぞらクローパーを作ってくれて、本当にありがとうございます。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1		1			訓練の様子についても、あおぞらクローパー等を通し、更に見える化できるように配慮します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17					Instagramにそのような投稿があったと思う。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	1		1	1		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	1		1	1	事故等がおきていないので左記の通りです。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	16				1	息子はクラージュが大好きです。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	16				1	①とても楽しみにしています。通所カバンが準備してあると、自分で靴下をはいたり、靴をはいたり積極的です。 ②週1回の利用だが、通いの道中から楽しみにしているのが分かる。 ③着くなり、指をさして降りたがる様子、ママにバイバイをしているところを見て、楽しいのが分かります。	「子どもらしさ」を大切に、思い切り遊ぶ事を保障したいと思っています。また、保護者様にも安心してお子様をゆだねていただけるよう、今後も支援技術、知識の向上だけでなく、人間的にも成長できるよう努力します。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16				1	①外出プログラムや室内プログラム等いろいろな体験をさせていただける。 ②かわいい かわいいと職員の方々に可愛がられて、本当に幸せを感じているのが分かり、親も幸せです。 ③先生方のおたのしみ表情や言葉、愛情にとっても感謝満足しています。	次年度も、「また行きたい」そう思っていただけ温かな環境作りを心がけます。元気で笑顔いっぱいお待ちしております。今後ともよろしくお願いたします。

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	障がい福祉サービス事業所 コバン・クラージュ		
○保護者評価実施期間	2024年12月9日		~ 2024年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2024年12月9日		~ 2024年12月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月24日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々異なる活動を提供し、多くの刺激が得られるよう工夫しています。	月ごとに担当(4名)が決まっており、相談した上で月案を作成しています。五感を刺激する、昔ながらの遊びを大事にしています。	今後も“ワクワク・ドキドキ”するような楽しい活動を工夫します。楽しく遊びながら、発達支援に繋げていきます。
2	保護者様の就労を応援するため、長時間のお預かりをしています。“静”と“動”を組み合わせた活動提供で、負担の無いよう配慮しています。	子ども達の様子を多職種間で見守り、情報共有を行っています。ひとり一人に合わせた活動時間、休憩時間の提供を心がけています。	休憩チームと活動チームが明確になるよう環境面の工夫をしていきます。
3	重症心身障がいのある児童、医療的ケアの必要な児童も受け入れています。どのような障がいがあっても、同年代のお友だちが経験していることを同等に経験できるよう合理的配慮を行っています。	地域の幼稚園、保育園で行う活動は、クラージュの子ども達にも提供しています。子ども期には“その時期にしか経験できないこと”があります。その経験を保障しています。	更に外出活動の機会を増やし、地域とのつながりを強めていきたいと思っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の園との交流機会を設けていますが、交流先が限られます。	施設のハード面、また医療的ケアや重症心身障がいについて地域の理解がまだ進んでおらず、難しいという返答をいただいていると思います。	医療的ケアの必要な児童、重症心身障がいのある児童について、分かりやすく説明すること、またこちら側の工夫によって、ハード面は概ね解決されるため、その工夫についても詳しく説明する必要があると思います。
2	送迎先が多岐にわたり、ご希望に添えないことがあります。	送迎を実施する施設が少ない事、またクラージュは遠方まで送迎しているため、車両も人員も多く必要です。	地域によって不公平がでないよう、乗り合わせや配車など更なる工夫が必要だと思っています。
3			

公表 事業所における自己評価結果

事業所名 障がい福祉サービス事業所コパン・クラージュ(児童発達支援)

公表日 2025年 2月 1日

Table with 6 columns: Check Item, Yes, No, Points for Improvement, and Issues/Improvement Points. Rows are categorized into Environment/Structure, Business Improvement, and Provision of Appropriate Support.

関係機関や保護者との連携	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	3	医療的ケア児支援センターとの情報共有、また相談などは数多く実施しました。センターが開催する研修会に参加し、スキルアップを図ることができました。	今後は医療的ケア児支援センターだけでなく、地域の児童発達支援センターとの連携も深めていきたいと思っています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6	今年度はこどもクラブとの交流のみに留まりました。	次年度は、園との交流も再開します。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		連絡ノート、対面にて共通理解を図っています。必要に応じ、相談支援専門員との共有も行っていきます。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		保護者会開催時には、対面にて勉強会を実施しています。またジャンプやおおぞらクローバーを活用し、子どもへの接し方、声のかけ方、褒めることや認めることの大切さを発信しています。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時、児童発達支援管理責任者より書面を基に説明しています。	いつでも分からないことをお問合せいただき、どの職員でも返答できるようにしていきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		可能な限り保護者様にもご参加いただき、次の計画について話し合うようにしています。子ども主体の計画書作成を心がけています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		基本的には保護者様と一緒に考え計画を作成していますので、要点のみの説明にてご同意いただいております。	今後は、より丁寧な説明を心がけます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1	連絡ノート、またお電話にてご相談いただくこと、お子様の送迎時にお声かけいただくことなど様々です。対応した職員から返答が難しい場合には、一旦持ち帰り多職種で話し合い返答するようにしています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		コロナ後、感染に留意しつつ対面での交流会を再開しているところです。今年度は5回開催することができました。また、ダウン症児(者)の保護者会「マーガレット」を発足することができました。	次年度は、きょうだい参加の催しも再開します。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		窓口や責任者を設置し体制を整えております。	お問合せやご要望等を伝えやすい関係性作りを務めて参ります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		広報誌だけでなく、イルカでは「ジャンプ」を、らっこでは「おおぞらクローバー」を発行し、子どもたちの様子を発信しています。また、SNSに関しても、毎月多くの記事をアップしております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		毎年クラージュ全体での研修会を実施し、大切な個人情報の取扱いについてリマインドしています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		言語だけに偏らず、多様なコミュニケーション方法を使い意思疎通を行っています。また情報の見える化を意識しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	事業所に地域の方をお招きする等に関しては、未実施となります。	イベントや研修会などを活用し、地域の方にもお越しいただけるよう工夫していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		児童分野だけでなく、各委員会も交えつつ研修会を行うことができました。	様々な事故発生を想定し、今後も研修を実施します。いざという時、慌てず動くことができるようシミュレーションを繰り返します。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		各部署にて、それぞれのリーダーが主となり研修会を実施しました。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		事前に保護者様と対応方法について確認しています。また、必要に応じ医師の指示を仰いでいます。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		契約時、アレルギー等について聞き取りをし、食札に記載する等で厨房との連携を図っています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2	周知については、まだ不十分な部分もあるかと思っています。	今後、保護者会等の機会を使い、対面にて丁寧に説明していきたいと思っています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	6		各部署にて再発防止について検討し、更にリーダー会議でも話し合いを行います。職員会議時には、再発防止も含め全体に周知しています。	ヒヤリハットを増やし、大きな事故を防いでいきたいと思っています。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		委員会を中心とし、年に2回研修を実施しています。外部研修にも可能な限り参加し、研修報告という形で全体周知を図っています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		やむを得ず身体拘束を行う場合の条件等については、研修で話しています。心愛会では、身体拘束を行いません。		